

衆議院内閣委員会ニュース

平成 25.11.28 第 185 回国会第 10 号

11 月 28 日（木）、第 10 回の委員会が開かれました。

1 国家公務員法等の一部を改正する法律案（内閣提出第 19 号）

国家公務員法等の一部を改正する法律案（渡辺喜美君外 3 名提出、衆法第 10 号）

幹部国家公務員法案（渡辺喜美君外 5 名提出、衆法第 15 号）

国家公務員法等の一部を改正する法律案（津村啓介君外 4 名提出、衆法第 16 号）

国家公務員の労働関係に関する法律案（津村啓介君外 4 名提出、衆法第 17 号）

公務員庁設置法案（津村啓介君外 4 名提出、衆法第 18 号）

・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。

（参考人） 青山社中株式会社筆頭代表 CEO、中央大学客員教授	朝比奈 一 郎君
早稲田大学法学学術院教授	島 田 陽 一君
千葉大学大学院専門法務研究科教授	下 井 康 史君
日本国家公務員労働組合連合会中央執行委員長	宮 垣 忠君

（質疑者及び主な質疑内容）

中 山 展 宏君（自民）

- ・国家公務員の給与は、我が国の厳しい財政状況及び東日本大震災に対処する必要性に鑑み、平成 24 年度から平均 7.8%引き下げる特例措置が講じられているが、この特例措置について宮垣参考人及び下井参考人の見解を伺いたい。
- ・官民人材交流については、実体的な天下りであるなどの指摘もあるが、今後どのように進めていくべきか、朝比奈参考人の見解を伺いたい。

津 村 啓 介君（民主）

- ・今回の政府案は、内閣人事局の創設がポイントとなっているが、平成 21 年の国家公務員法等の一部を改正する法律案（いわゆる甘利法案）に比べ、人事院の関与が残っているなど非常に後退した印象がある。今後も、さらに公務員制度改革を進めていく必要があると考えるが、その点について朝比奈参考人の見解を伺いたい。
- ・自律的労使関係制度の措置についても、今回大きく後退したテーマのひとつであるが、現在の労使関係についてどのようにお考えか、島田参考人の見解を伺いたい。

杉 田 水 脈君（維新）

- ・朝比奈参考人は、以前、公務員制度改革を進めるためには司令塔をつくる必要があると述べていたが、内閣人事局は司令塔の機能を果たし得ると考えるか、朝比奈参考

人の見解を伺いたい。

- ・人事院を廃止して国家公務員に対する労働基本権の制約をなくした場合、どのようなメリットとデメリットが考えられるか、島田参考人及び下井参考人の見解を伺いたい。

輿 水 恵 一君（公明）

- ・最高裁判決における国家公務員に対する労働基本権制約の合憲性の判断は、人事院による代償措置を前提としているが、今回の政府案では、この人事院による代償措置の役割が果たされていると考えるのか、島田参考人及び下井参考人の見解を伺いたい。
- ・国家公務員制度改革において今必要とされているのは、様々な政策課題に対して全体観に立って提案できる人材であり、そのような人材の育成であると考えているが、朝比奈参考人の見解を伺いたい。

大 熊 利 昭君（みんな）

- ・幹部職員については特別職が望ましいと考えるが、今回の政府案では一般職にこだわっているように見える。あえて一般職のままとするメリット・デメリットについて、下井参考人及び朝比奈参考人の見解を伺いたい。
- ・今回の政府案では、幹部候補育成課程の実施主体は各大臣とされているが、これは内閣人事局の方が望ましいと考える。朝比奈参考人の見解を伺いたい。

塩川 鉄也君（共産）

- ・国家公務員制度改革に対し、政府はILOから労働基本権を付与するよう勧告を受けている。このILO勧告の意義や重みについての島田参考人及び宮垣参考人の見解を伺いたい。
- ・今回の政府案の提出に当たって、政府は労働組合に対し十分な説明を行ったと言えるのか。宮垣参考人の見解を伺いたい。

村上 史好君（生活）

- ・内閣官房に内閣人事局を設置しても、結局は事務方に依存し政治主導による幹部職員の任用は進まないのではないか。朝比奈参考人及び島田参考人の見解を伺いたい。
- ・国家公務員の天下り対策の在り方について、朝比奈参考人の見解を伺いたい。